

独立行政法人日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

勝田電設工業株式会社（代表取締役 西村聡、以下「当社」と言う）は1949年に創業し、総合電気設備工事業として、学校や庁舎等の公共施設、研究施設等の最先端実験設備、各種工場やコンビナート等のプラント設備など、幅広い施工実績により培った高い施工技術で、「電気」という社会に欠かす事の出来ないインフラを支えて参りました。

どのような設備工事においても、それに対応するのは血の通った人間であり、人がいて企業があり、そして社会がある。当社は創業より70年以上、人を大切にし、「100年以上成長し続ける企業」、「全社員が情熱を持ち続けることが出来る企業」をスローガンに掲げて、人材育成に注力して参りました。この考え方を基に、自社にとどまらず広く社会に優秀な人材を輩出することが、これからの当社の社会的責任であると考え、独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンド（第64回日本学生支援債券）への投資を決定いたしました。

大夢・創造・実現
DREAM / CREATE / REALIZE

当社はこの取り組みを通じて、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する事で、持続可能な社会の形成に貢献して参ります。



2023年11月 8日 満期償還に伴い第73回日本学生支援債券に再投資